



No.411 令和7年11月28日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人会長 広瀬安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: <https://ootakoren.com>
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話 (3766)1711
株式会社 気生堂 印刷所



製品を吸着する浮上搬送装置の前で歓声をあげる来場者 (株)タンケンシールセーコウ

つのエリアに分かれて開催した。東急電鉄多摩川線下丸子駅から矢口渡駅の周辺である「新田丸・蒲田」エリアのほか、京浜急行電鉄本線梅屋敷駅から六郷土手駅周辺の「京急本線」エリア、京急空港線梶谷駅から穴守稻荷駅周辺の「京急空港線エリア、城南島エリアでさまざまなプログラムを繰り広げた。

(株)桂川精螺製作所は、ベンチャー企業と協業して宇宙事業に取り組んでおり、協業する4社と宇宙展を開催した。Amaterass pace(株)は西陣織を使つた日本発の次世代宇宙服「VESTRA(ヴエストラ)」を展示了ほか、(株)ダイモンが開発した月面探査車

大田区内の製造業が一斉に工場や
社内施設を一般公開するイベント「お
おたオープンファクトリー2025」
が2025年10月25日に開催された。
区内全域から29カ所の工場がオープ
ンし、製品展示や見学ツアー、体験ワー
クショップなどを通じて大田区が誇
るものづくりの魅力を広く発信した。
主催は工和会協同組合、(一社)大田
観光協会、東京都立大学、横浜国大
大学、(一社)おおたクリエイティブ
タウンセンター、(一社)大田工業連
合会で構成する「おおたオープンファ
クトリー実行委員会」。後援は大田区、
(公財)大田区産業振興協会、東京商
工会議所大田支部、野村不動産パート

ナーズ(株)。イベントの開幕を飾ったのは、東急電鉄多摩川線下丸子駅の近くにある工和会館でのオープニングセレモニー。当会の広瀬安宏会長は「秘密保持の観点から工場内を見せるのが難しくなる時代。それでも未来の大田区のために、ものづくりに興味を持つてもらいたい」という想いが込められている。大田区の職人の心意気や精密な工程を見て一日を過ごしてほしい」と挨拶した。来賓挨拶で鈴木晶雅大田区長は「産業のまちの魅力を再発見し、持続可能な未来へとつなげられるよう、一緒にオープンファクトリーを盛り上げていきたい」と祝辞を述べた。

おおたオープンファクトリー 2025
創意工夫し、ものづくりの魅力を発信



タフティング体験に挑戦！ 大三建商（株）

(株)杉山化学工業所は、工場の作業見学会を開催し、亞鉛めつきの工程をデモンストレーション。鈴木区長も見学し、鮮やかに色づいためつきの技術に来場者らと共に歓声をあげていた。

A black and white photograph showing a group of people, mostly young adults, gathered around a booth at what appears to be a school fair or exhibition. The booth features various displays, including large vertical panels with Japanese characters and smaller informational cards. One person in the foreground is wearing a grey hoodie and a beret, while another person to their right has a circular graphic on their back. The background shows more of the event space with other booths and people.

学生らがものづくりのまちをアピール おおたミライベース

ものづくりのまちの未来を実験する
基地のように、巧みな趣向を凝らした
イベントを実施した。

オープニングアクトリー当日は、あい
にくの雨模様だったが区内外から大
勢の家族連れなど一般来場者が訪問。
子供たちは創意工夫を凝らしたもの
づくり体験に目を輝かせ、悪天候を吹
き飛ばす盛り上がりをみせていた。

なった多機能スペース「大三蒲田ビル」を運営する大三建商（株）は、タフティングガンと呼ばれる専用の機械でカラフルな毛糸を布に打ち付ける「タフティング」の体験ワークショップを開催した。

ひとりきわ注目を集めたのが、学生らがものづくりのまち大田区をアピールした「おおたミニライベース」だ。区の歴史を図面や模型で紹介した展示のほか、工場の廃材から工場の模型を作成するワークショップ、お酒を片手に大田区の未来を語り合う「町工BAR」のトークセッションなど

10月29日(水)開催の当会正副会長会において左記11名の方の受賞が決定しました。おめでとうございます。

令和7年度 優良従業員 表彰受賞者



峰島 賢尚	本社営業部 課長代理
北嶋 瑞穂	株式会社三桂製作所
常見 由佳	本社業務課
堀越 和弘	株式会社三桂製作所
名古屋支店	蒲田工業協会
板橋 正則	蒲田工業協会
技師	日本電機株式会社
大野 順子	蒲田工業協会
鳴崎 謙	日本電機株式会社
所長	蒲田工業協会
事業推進本部 営業部 名古屋営業所	日本電機株式会社
トキワ精機株式会社	蒲田工業協会
平川 將一郎	(一社)大森工場協会
主任	(一社)仲池上商工業振興会
田村 佳之	株式会社自強輸送機 (一社)仲池上商工業振興会
部長	株式会社自強輸送機 (一社)仲池上商工業振興会



お客様で賑わう青年部ブース



カルボナーラ風うどん



チョコバナナは子供に大人気

秋風が吹くなか、大田区最大の区民まつり「OTAふれあいフェスタ2025」が11月1、2日、開催された。大田工業連合会も構成団体であるOTAふれあいフェスタ実行委員会と大田区が主催。大田区内の商店や団体、友好都市が出店を並べ、例年15万人の参加者で賑わう大イベントだ。当会青年部連絡協議会も出店し、うどんやかき氷、チョコバナナ、ホットドッグなどを販売した。

会場は3カ所に分かれている。

京浜急行平和島駅から徒歩15分にある「大森ふるさとの浜辺公園(ふるさとの浜辺エリア)」、「平和の

森公園(緑のエリア)」「平和島公園(太陽のエリア)」。前日に雨が降った関係で若干ぬかるんでいる場所もあったが、秋晴れの開催となつた。荏原流れ太鼓の演奏に続いて行われたオープニングセレモニーには、当会の広瀬安宏会長も登壇。式典で鈴木晶雅区長は「この公園にはやはり太陽が似合う。それぞれのエリアにある魅力を二日間満喫し、地域のふれあい、交流の輪を広げながら大田区の魅力を感じてほしい」と挨拶した。

青年部が出店したのは「緑のエリア」。同エリアでは大道芸人がアクロバティックな芸を披露し、



登壇する広瀬会長と挨拶する鈴木区長

OTAふれあいフェスタ 青年部 出店

機会の多い同イベント。青年部メンバーにとつても、会社や日頃の仕事を離れ、楽しめる一日となつた。

子供たちや家族連れと触れあう

チヨコバナナやかき氷は可愛いデザインで子供に好評。フランクフルトを鉄板で焼いてパンに挟んだホットドッグもよく売れていた。

非常においしかった。

うどんについては、釜玉うどんに加え、青年部オリジナルのカルボナーラ風うどんを販売した。チーズと黒こしょう、ベーコンチップで味付けした一皿。記者も食べてみたが、チーズのコクがあり非常に美味しかった。

うどんについて、子供たちが訪れた。

オリジナルのバルーンづくりワークショップが開かれるなど、家族連れ、子供たちに楽しい催しが満載だつた。青年部のブースにも、かき氷やチョコバナナを買いに多くの子供たちが訪れた。

うどんについて、釜玉うどんに加え、青年部オリジナルのカルボナーラ風うどんを販売した。チーズと黒こしょう、ベーコンチップで味付けした一皿。記者も食べてみたが、チーズのコクがあり非常に美味しかった。

チヨコバナナやかき氷は可愛いデザインで子供に好評。フランクフルトを鉄板で焼いてパンに挟んだホットドッグもよく売れていた。

子供たちや家族連れと触れあう機会の多い同イベント。青年部のメンバーにとつても、会社や日頃の仕事を離れ、楽しめる一日となつた。

大田工業連合会は、 皆様のご加入をお待ちし、歓迎します。

一般社団法人 大田工業連合会は、東京都大田区に所在する9つの工業団体、その会員企業約700社が連合し、地域の工業振興に資する各種活動を行っています。

ぜひ、皆様も地域の工業団体※に加入しませんか！ 地域の工業団体に加入することで当会会員となります。

- ▶蒲田工業協会 ▶(一社) 大森工場協会 ▶工和会協同組合 ▶都南工業給食協同組合 ▶蒲田工業協同組合
- ▶(一社) 仲池上商工業振興会 ▶東京南シートメタル工業会 ▶東京都京浜島工業団地協同組合連合会 ▶城南島連合会

地域の工業団体に
会費や活動等をお問合せください

条件が合えば
ご加入・会の事業にご参加

大田工連会員として会員価格で
セミナーをご受講のほか、様々な
支援策の情報を取得いただけます

ご加入の手順

各種活動は大田工業連合会のホームページからご覧ください
<https://www.ootakoren.com/>



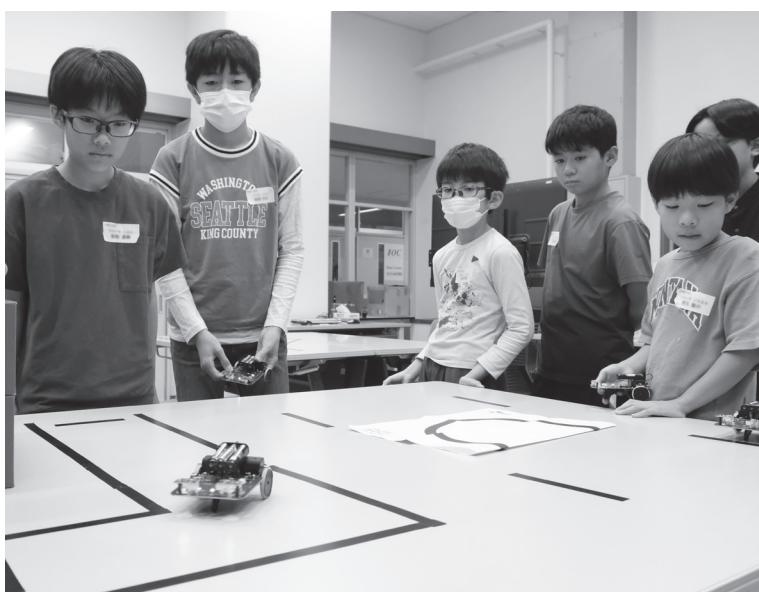
★ご加入に関するお問い合わせは
(一社)大田工業連合会担当：吉崎 連絡先：3737-0797

育て!
ミライのロボット
技術者

秋のロボットセミナー in 都立産技高専 開催



みんなで一緒にロボットの組み立て



ロボットの動きを見つめる真剣な眼差し

大田区と大田工業連合会は10月19日、東京都品川区にある東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスで、「IOT基礎Lab. for Juniors」秋のロボットセミナーを開催した。内容はプログラミングカードの製作と専用ソフトでのプログラミングを通じ、ロボット工学の基本を学べるセミナーだ。大田区在住・在学の小学4年生から中学2年生までの児童・生徒が対象で、抽選で選ばれた18名が参加。指導役は同校の浅川澄人先生で、学生もサポートとして参加した。

セミナーはプログラミングロボットカード「コロボライト2」の組み立てから始まった。同キットは光センサーとモーターを搭載し、単四電池三本で駆動する。コネクターの差し替えでセンサー位置を変えると、障害物検出や床検出、ライントレースなど動作を切り替えられるのが特徴だ。子供たちは持ち込んだ工具を駆使して、タイヤユニットやモーターを基盤へ取り付けようとするが、ボルトは

にナットを用いることに慣れていない様子。浅川先生や学生から「固定したい箇所をおさえながら基盤を裏返してやると、やりやすいよ」とアドバイスを受けながら、始まって1時間後には全員が自分の力で組み上げた。

機体の完成後は、専用のサイトを用いたプログラミングに取り組んだ。サイトでは「直進」「時間」「右回転」などアイコン化されたプログラムをつないでいくビジュアルプログラミングが採用されており、直感的にプログラムを作成できる。基本的な操作方法を教わると、子供たちは夢中でプログラミングに取り組んだ。

同セミナーに初めて参加した小

学5年生の熊谷光平さんは、隣に座る生徒に積極的に声をかけながら取り組み、「家でもやってみたい」と意欲を見せた。また、普段からデジタルカメラを持ち歩いているという中学2年生の参加者は、カメラの動画モードで機体の動きを撮影し、フィードバックに活用する大人顔負けの取り組み姿勢を見せた。「ラジオの組み立てに挑戦したことはあるけれど、動くロボットの制作は初めてでとても楽しかった」と語った。同校へも楽しめた」と語った。同校へ進学も検討したいという。浅川先生は「実際に、大田区のセミナーに参加したことをきっかけに、同校へ入学した生徒もいます」と喜ばしげに話した。

やさしい図面の見方講座(2回目)

当講座では、日本工学院専門学校様のご協力をいただき、図面の役割、投影の方法、各種記号など図面を見る上で基礎となる知識を習得します。

日 時 令和8年2月10日(火)・12日(木)・13日(金)・16日(月)・17日(火)(全5日間)※講座時間はいずれも、午後6時30分~9時30分

対象者 金属加工業や機械工業等に従事し、図面に関する基礎的な知識の習得を必要とする方

※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

会場 日本工学院専門学校 蒲田キャンパス 大田区西蒲田5-23-22 (JR蒲田駅西口より徒歩3分)

講師 日本工学院専門学校 岡崎先生 他

定員 30名(抽選制)

受講料 会員:5,000円・非会員:6,000円(いずれも教材費等込)

申込〆切 令和8年1月8日(木)

申込・問合せ先 ※お申込みはFAXのみの受付となります。当会のホームページよりお申込み書をダウンロード又はお問合せください。

ホームページ <https://ootakoren.com/> 申込先 FAX:03-3737-0799まで

